

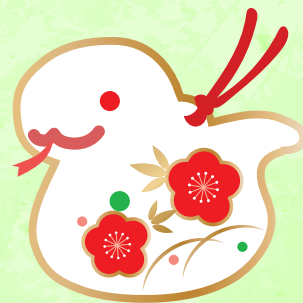
健康 さがみはら

発行 一般社団法人 相模原市医師会

明けましておめでとうございます。

2025年最初のテーマは私たちにとってとても大切な“腎臓”のお話と、決して昔の病気ではない“結核”についてです。

お正月にご家族皆さままでぜひご一読ください。



箱根外輪山にある乙女峠からの富士山
平尾 隆

相模原市長 本村 賢太郎



市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた、輝かしい新年をお迎えのことと存じます。

昨年1月に発生しました能登半島地震や夏に各地で頻発した台風などの自然災害により被災された皆さま、並びにそのご家族の皆さまに心からお見舞いを申し上げます。また、被災地の最前線において、救急医療をはじめ、地域医療や公衆衛生の回復にご尽力賜りました医療関係者の皆様にお礼申し上げます。

さて、本市は、昨年市制施行70周年という節目の年を迎えました。これからも100年、それ以上に向けて発展を続けていくためには、市民一人ひとりが健康であることが何より大切であると考えております。

このため本市では、健康づくり推進条例を制定し、条例の基本理念である「自らの健康は自らつくる」を実現するため、市民の皆さまと協働して健康づくりに取り組み、生涯にわたっていきいきと暮らせる社会を目指しております。

また、昨年11月には、24時間365日救急医療相談ができる「かながわ救急相談センター#7119」が全県域で開始されました。本市においても、救急車の適正利用や救急医療機関の適正受診、かかりつけ医の普及など、「上手な医療のかかり方」をより推進してまいりますので、市民の皆さまには、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

72万市民を誰ひとり取り残さないという思いのもと、市医師会をはじめ、医療・保健関係団体の皆さまと連携し、健康づくりや医療体制の確保に取り組んでまいります。

新しい年が希望に満ち溢れる一年となりますことを、心よりお祈り申し上げ、年頭のごあいさつとさせていただきます。

一般社団法人相模原市医師会 会長 細田 稔



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

市民の皆さまには、希望の新年をお迎えのことと思います。

本紙「健康さがみはら」は昭和49年に第1号を発行し、次号で第300号を迎えます。これもひとえに日頃から本紙をご愛読いただいております皆さまのおかげと感謝申し上げます。今後も紙面のさらなる充実を図り市民の皆さまに健康意識を高めていただけるよう努力をしてまいります。

さて、昨年一年を振り返りますと、元日に令和6年能登半島地震が発生し甚大な被害をもたらしました。8月には日向灘を震源とする地震により、気象庁が「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」を発表しました。能登半島地震の復興もなかなか進まない中、防災対策の推進地域に指定されている方々に大きな不安を与えるものでした。さらには、“何十年に一度”とよく耳にした大雨被害が各地で発生するなど、いわゆる想定外の災害が多発した一年でした。

防災に関しましては、日頃から知識を深めるとともに、いざ災害が発生した際には適切な行動がとれるよう常に準備しておくことが重要です。当医師会も相模原市地域防災計画に基づく総合防災訓練や救護所における災害時医療救護訓練等において救護体制の研鑽に努めているところであります。

引き続き、地震をはじめとする大災害に備えることはもとより、市民の皆さまの健康を第一優先に地域医療の充実が図られるよう相模原市の協力のもと努めてまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

本年も市民の皆さまが毎日健康で元気よくご活躍されることと祈念いたしまして年頭のあいさつとさせていただきます。

